



平成30年11月27日

間もなく師走。今年も残り少なくなってまいりましたが、会員の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

豊実では、長い冬に向けて着々と準備が進められているようです。

さて、11月18日（日）に朱鷺メッセで行われた佐藤さんの講演「里山アート展がつなぐ交流と地域共生」は、各方面に共感の輪を広げたようです。“福祉、介護、健康フェア2018in新潟”という公共性の高いセミナーの一環として、福祉協議会から要請された講演であったことも好評を生む一因だったようです。

その翌日（11/19）には、17名の中国人が豊実を訪れました。「日本人の暮らしが見たい」という中国人観光客の意向が、和彩館に結びついたところが嬉しいですね（詳しくは、HP上の「中国人の来訪」をお読みください）。

阿賀町豊実は、ますます日本の小さな国際村となっていくようです。

今年はまた、総務省と各自治体がすすめる“ふるさとワーキングホリデー”に阿賀町では6団体が選ばれ、NPO 法人コスモ夢舞台はその一つに入った、というニュースもありました。

この略称“ふるさとワーホリ”は、「都市に暮らす若い人たちが、一定の期間、地域に滞在し、働きながら地域の人たちとの交流の場や学びの場などを通じて、通常の旅行では味わえない地方を丸ごと体感してもらい、地域とのかかわりを深めてもらおうというもの」。受け入れは来年（2019）3月中旬まで続くそうで、すでに申し込み、問い合わせもあり、佐藤さんは日本の若者の来訪に期待を寄せています。

今年は、外国人ウーファアの来訪は延べ20人を超えています。ぜひ日本の次世代の若者たちにも、ひとりでも多くコスモ夢舞台の生き方を体感していただき、我われの夢をつないでいきたいものです。少し早めですが、どうぞ良い年をお迎えください。

（事務局/森紘一）

<年明けのイベント予定>-----

○味噌づくり 2019年3月23日（土）8～12時（30年度の最終イベント）

於 石夢工房と周辺

2018. 11. 26

今年の終わりに

佐藤賢太郎

今年も残すところ一か月となりました。皆様ありがとうございました。

最後のイベント、11月18日の「朱鷺メッセ」の講演会にお出でいただいた会員の方に御礼申し上げます。

講演会は過疎地域で私がどのように暮らしているか、映像で表現しました。「コスモ夢舞台賛歌」の曲からはじまり、お陰様で盛会のうちに無事終えました。

しかし私には難関があります。コスモ夢舞台の運営に欠かせない助成金の整合性のクリアーです。皆様を含め、多くの方が泊まれるように、そして桃源の湯入浴のため、山の水を安定的に使えるように、その修理・修復に1年かかりました。さらに里山アート展の開催などに多くの資金を使い、手持ちの資金を持ち出す始末でした。

できれば私の事務仕事が少なくなるので助成金は頂かないで、コスモ夢舞台の運営をしたいのですが、助成金なしではそれはできません。

今年は田圃を増やしました。私に無理しないようにという方もいますが、応援していただいた方にお礼として、お借りしている田んぼでつくったお米を使っている現状です。

最後になりましたが、今年は戦力として外国人ウーファーに随分助けられました。また、中国人が観光客として我が家にお出でになります。その内容はホームページに掲載されています（26日も来訪予定が組まれています）。

いずれにしても夢の実現に向けて、あらゆるチャンスを生かして、来年も皆さんと共に歩んでいきたいと考えております。

平成 30 年コスモ夢舞台を振り返る

会計担当 大塚秀夫

皆様ホームページをご覧になつていますか？

今年の 1 月の雪はよく振りました。雪おろしを 2 回行ったのは初めてと佐藤さん。雪が滑り落ちるように中村屋の屋根は雪が降る前に佐藤さんにより雪止めも取りました。

雪下ろしを業者に頼めば 4 万円かかります。それだけ面積の広い屋根です。

雪が降る前に完成したことに佐藤さんはホットしています。やるべきことをやり終えたと思います。

雪が少なくなったとは言え、積もれば道路に出るためにまず、雪かきをしなければ、道路にも出ることができません。

そして、地域に御住まいの高齢の方が雪かきが出来なければ佐藤さんはスコップで雪かきをされていきました。すると、会員の方が除雪機を探そうかと呼びかけてくれました。皆さん大賛成で除雪機 8 6 万円。これは雪を自在に飛ばします。これを使い私も除雪しました。本当に楽でした。

これから雪に覆われた地域で活躍します。来年は豊実地区でスコップ隊の活動も 3 回目を迎えます。こうした社会貢献が地域にも認められ、ワーキングホリデーにもコスモ夢舞台は採択されました。今、若者が応募しています。単にお金を稼ぐのではなくアルバイトが目的でなく、佐藤さんの生き方に学びたいと応募しているのです。

いま、私はめだかの川を作るためスコップで掘っていた頃の体力もありません。車椅子の方も見ていただくために大野さんが半日かけてモルタルであぜ道を仕上げたことが懐かしく思います。ともかくコスモ夢舞台は日々変化しています。そして今コスモ夢舞台の在り方が阿賀町では注目されています。全国にも広げたいと思います。それは私たちの誇りでもあります。

今、今までのコスモ夢舞台の作業の作りのベースがあるからこそ、ワーキングホリデーにも採択されたのです。雪が降る前にペンキも塗りさびの部分は補修も済み、来年はここでコスモ夢舞台国際交流のイベントの準備も終わりました。コスモ夢舞台で活かされる創造、ひらめき、実行力が夢舞台を創っています。外国人も訪れたい魅力ある場所になったのです。このたくましい意欲と崇高な精神がコスモ夢舞台の活動を支えています。そのために変化し続ける。コスモ夢舞台の進化のためには助成金もなくてならない資金であります。これがコスモ夢舞台の平成 30 年も見事に具現したと自負しています。これから厳しい冬がやってきます。冬の時代つぎは新しい芽吹きが訪れます。来年も更なる活動の年となりますことを願い、皆様に御礼申し上げます。

会計担当 大塚秀夫